

## 平成 28 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 28 年 7 月 16 日（土）

開会：午後 3 時 30 分 閉会：午後 5 時 00 分

場所：瀬古泉集落センター

参加者：男 15 人、女 4 人 計 19 人

町職員：町長、副町長、教育長、総務部長、財政課、政策課

### ○懇談

男性 人口の減少について、団地はこれから空き家が増えていくと思うんですが、そういう不動産を上手く流動化して、今風の家屋にしていくとか、そういうことを促進するような方法を考えていないのでしょうか

町長 ずっと手付かずだった笹尾西の保育園跡地を売却しました。大和ハウス、ミサワホーム、トヨタホームの 3 社の共同体が購入してくれました。今工事をしていますが、若い人が入っていただけるような一角を作ってもらっています。その 3 社の方とお話をさせていただいたんですが、空き家をリフォームするなりして活用して売るということに協力していただけると、この 3 社は名古屋方面、愛知県とか岐阜県とかの情報を含かなり持っています。新築だけでなく、空き家をリフォームするなどして需要のあるところや人に、東員町を積極的に案内して頂けると言ってくれています。まずは事業所とも一緒になって東員町に来て頂けるように頑張っていきたいと思います。

ただ、空き家は団地よりも在来地区の方が圧倒的に多いんです。空き家の数は昨年調査しました。空き家かどうかの判定は水道の栓が開いているかどうかで決めました。空き家にも 2 通りあって、普段は住んでいないがたまにきて掃除したりしているよという場合としばらくは絶対使わないだろうという場合です。後者の場合は、水道の栓も閉めているだろうという考えです。問題なのはこの後者の空き家で、これが 142 軒あります。その中で、何かあったら崩れるのではないかといういわゆる特定空家に分類される空き家が 20 軒近くあります。それを除いた使える空き家が 120 軒程あります。これをどう使っていくかが課題です。

1 つは業者の皆さんと共同でリフォームするなどして新しい住民を呼んでくること。もう 1 つは、企業の社宅やゲストハウスとして使えないかということです。企業では、お客さんや他の地域の従業員が研修等で年間何百人と来るそうです。その人達は、桑名のビジネスホテルに泊まるんですが、それが莫大な費用になるらしいです。それなら、空き家を改装してそこに泊まってもらうというようなことが出来ないか今検討してもらっています。それがもし上手くいけば、その空き家を掃除したりまかないをしたりするという仕事が出来ます。それを地域の人にまかしてもらえれば雇用が生まれ

ます。もう1つ空き家対策として、地域の中で使えるような空き家があれば、そこを地域の皆さんが集まれる場所、集会所とはまた別の意味で集まれる場所として使えないか。そういった場所はこれから必要となってくると思います。笹尾の交番跡地に、憩いの広場というのが出来ました。交番を地域の人が改装されて、お茶を飲んだり出来るような場所になっています。先日もお邪魔させていただいたんですが、結構人がいっぱいにぎわっていました。そういう場所を地域で作っていただくのもありかと思っています。皆さんもこんなことがしたいというのがあればどんどん意見を言っただけならと思います。そんなことも含めて空き家問題について考えていきたいと思っています。

男性 年取って一人暮らしになって、今まで住んでいた家は大きすぎて住みにくい、もっと小さくていいよとなったときに、家や土地を誰かに貸して、別のそういった人達が固まって住めるような、病院が近かったり、介護してもらえるような施設を作ってもらって、そこに住むというようなそんな仕組みが作れないもんかと以前から思っているんです。

町長 まさにそのとおりだと思います。東員駅ありますよね。東員駅の前を開発して、サービス付き高齢者住宅が出来ないかと考えているんです。駅や役場に近しいし、近くにスーパーや銀行が出来ればすごく便利だと思うんです。そういうことを目標にあそこの開発に対して、県や国土交通省と喧々諤々で交渉をやっています。これが上手くいけばおっしゃっていただけたようなことが出来ると思います。ひとつの例として、東員病院が有料老人ホームを作ったんですが、そこがあつという間に埋まってしまう。団地の人が自分の土地と建物を売ってそのお金で入居するという事例が何件かあるんです。ですので、おっしゃっていただいたような可能性は十分にあると思います。

男性 せっかく大和ハウスさんとかに入ってもらえば、そこらの知恵をお借りして進めていただけたらいいと思います。

男性 家の関係で役場の窓口はどこになるんですかね。

総務部長 数年前から空き家バンクというのを建設課でやっていますのでそちらが窓口になります。

男性 藤川なんですけど、毎年2月になると草焼きやりますよね。野焼きをするなというこんな時代に、やらずにすむ方法があると思うんですわ。草焼きとか明治時代みたいなことやめて欲しいんですわ。世代交代して息子とかになったらでていかんと思うわ。筑紫の向こう側桑名になると思うけど、そこは草刈しています。2年くらいばあーと刈って行けばそのうち生えてこなくなりますわ。それをしてもらわないと、いつまで

たっても草焼きしなければならんわ。

総務部長 草焼きですが、2月の第一日曜日に自治会でやられるところは、その日にやってもらっています。消防がやっているようによく誤解されるんですが、一斉に火をつけると飛び火して燃え移ることがあるので消防に待機をしてもらっているんです。消防がメインではなく、在来の自治会で日を決めてやってもらって町の消防団に待機してもらって、自治会の自警団で消火できなかったとき消防団に消火してもらっています。

男性 あそこ名前は遊歩道になっていますが、草まるけで危なくて歩けたもんじゃない。あそこも早いこと解消して欲しい。

男性 そこは、エコ行事と町の草刈と年に4回刈ってもらっています。すぐに生えてくるんです。

男性 自治会でやるんじゃなくて公的な事業としてきれいにやってもらったらありがたい。

町長 昔は行政でやっていたんですが、今は行政から自治会に委託をしているんです。一応自治会の委託事業になっています。少額ですが委託料がでています。

男性 町道の草刈でも路肩から2mくらいは刈るんですけど、その下は全然刈ってないんでそこを主に野焼きするんです。

政策課員 草焼きですが、2月の第一週の日曜日で決まっています、自治会でバラバラにしてもらうと、そのたびに消防団に待機をしていただかなければならないので、自治会に統一してやってもらうようお願いをしています。自治会でもやり方は色々で、中上ですと、自警の消防班の方々が堤防沿い等を焼いてもらっています。別の自治会では班ごとにどこを焼くか決まっていて、該当の場所を班が担当して焼いているところもあります。また、自治会も可搬ポンプを持っていますので持ち出してきてまわってもらったりしています。桑名消防署からもあまり派手に燃やすのはちょっと…、と言われますが、自治会としても、焼かないと虫はすごいし、草も生え放題だしということではなかなか上手くはいきません。

町長 自治会との話し合いの中でそうなっているのでなかなか難しいですね。

男性 草焼きとか空き家にも関係してくるんですけど、最近害獣が結構出てきていまして、アライグマ、ハクビシン、イタチ、タヌキやら色々でできます。業者を呼んだときにアライグマではないかと言っていたんですけど、糞がいっぱい落ちているんです。そ

ういふのってどういふ対策をしてもらえるんでしょうか。

町長           いなべ市というのには獣害対策がしっかりしていますが、今まで東員町は獣害というのがあまりなく、しっかりとした対策というのがないんです。しかし、最近猿見たとか色々でてきているので、考えなければいけないと思っているところです。獣害対策というと猪だとか鹿、猿等どこにでもいるようなものに対しては対策もあるんですが、アライグマの対策というのがあるのかどうか分かりません。

副町長        獣害対策は農作物の被害を防ぐというところで色々やってきているのでいなべ市もそういうノウハウもあると思うんですが、アライグマが屋根裏に住みついているとか、子どもに害のあるような糞があるとかそういったものに対しての対策というのは正直出来ていないのが現状です。

男性           最近色々な地区で目撃されています。トウモロコシをやられたという人もいます。

教育長        去年から三和校区の長深地内に猿がものすごくでるということで、笛とか花火でおっばらったらどうかという話があったんですか、県の専門家に聞いたら刺激をあたえてはいけないとおっしゃってみえて、猿に出会ったらどうするかということで県から三和小学校に来て頂きまして、基本は目をあわせない、おっかけない、石をぶつけないという話をしてもらいました。とにかく刺激を与えてはいけないということでした。アライグマとかは分かりませんが、猿とかでしたら県が出前講座で来てくれると思いますのでそういうのも利用してみてもはどうでしょうか。

男性           民間ですと色々やっていたりするんですが、動物保護とかで色々決まりがあるみたいで個人ではなかなか難しいみたいなんです。

町長           東員町はこういうことに対しては後進地なので、これから色々と考えていかなければなりません。中上で、新名神から東員インターの工事で山を開いた影響で猪がでたんです。普段でないんで大騒ぎになって檻を設置したんです。しかし檻を設置したらいなくなってしまったんです。皆目見なくなりました。

副町長        この地区では猪とかではなくアライグマやハクビシンがでるということですね。

男性           畑の世話をもうできなくなったとって梅の木を畑に植えて放っといたら山になってしまっている場所があるんですが、そこに住み着いているかと思うんです。町のほうへ苦情がいったらしくて、シルバー人材センターで見積もりだしてもらったらあんまりお金がかかるんで地主は出来ないと言ってそのままになっているんです。町のほうでなんとかありませんかね。

町長 現場確認させていただきます。獣害対策はこれから検討させていただきます。

男性 ふるさと納税のことを聞きたいんですけど、東員町の他に納めている人数とか東員町に納めていただくための方策とか何か考えていらっしゃるでしょうか。

町長 細かい数字は後で述べさせていただきますが、基本的にふるさと納税制度に私は大反対です。ふるさと納税の趣旨というのは、大都市に出て行った人達が、自分が小さい頃から育ったふるさとのために役立てて欲しいという気持ちで寄付をするということだったのに、今ではカタログショッピングになっています。本来この制度は地方の財源を増やそうということで始まりましたが、全体で考えれば確実に財源は減ります。儲かる場所もあれば減収する場所もあって、それをならずと1よりも減ります。なんでかという、例えば私が桑名市に10万円寄付するとします。そうすると桑名市から5万円分の蛤がもらえるとして。そうすると2千円は手数料みたいな感じですが、東員町に納めるはずだった10万円の税金を控除できます。私は5万円の蛤をいただいていますからその分得をしているんです。その5万円分が確実に行政側が損をしているんです。こういう制度なんです。どっかの自治体で300万円寄付してくれたら牛1頭分の牛肉を差し上げますというのがあったんです。これは300万円税金がかかるほど所得の高い人対象なんです。この人は牛1頭分儲かるわけです。でも我々は出来ないんです。こんなに税金納めていませんから。こんな金持ち優遇の制度おかしいと思うんです。これは個人的な考えです。この制度はどっかで歯止めをかけないといけないと思っています。ですから東員町は参戦しません。総務省の役人にもやめるように働きかけています。

総務部長 全ての数字はありませんが、平成26年は1件で10万円です。平成27年度も同じくらい平成28年度は1件で10万円頂いています。逆に東員町の人で他の市町にふるさと納税する人は何十人といらっしゃいます。ですので、東員町としてはふるさと納税制度はいい方向にはいっておりません。

男性 東員町にもホームページあると思うんですけど、もっと東員町のいいところをPRしたらいいと思います。特産物とかではなく、待機児童が0ですよとかいいところいっぱいあると思うんです。

町長 色んなところでPR下手は言われております。大変申し訳ないことです。教育長も頑張ってもらってまして、中日新聞に年間で記事を40件載せるとか具体的な数値をあげて頑張ってくださいますので私どもも頑張っていきたいと思います。

男性 都会のほうにもっとPRしてもらって、生活費の安い田舎のほうにきていただけるように若者を誘致して欲しいと思います。

町長 東員町の子育てや教育は非常に優れているという評判はいただいています、それを聞いて東員町に転入していただいている若い人は結構いらっしゃいます。ミニ開発をするとすぐに売れるという状況がしばらく続いていますし、しばらくはこの状況も続いていくと思います。

女性 空き家の関係ですが、ところどころ雑木林みたいになっていまして、町に言いに行って町から地主さんに連絡してもらってきれいにしてもらったんです。でももう住んでないので、しばらくしたら元通りになってしまうんです。一時期、猿が出てきたときそこに逃げ込んでいたんです。小動物とかもそこに逃げ込んでいるんです。その時も町に言いに行ったんですが、捕獲とかは出来ないと言われたんです。そんなところがいくつもあるんでそれを把握して何とかしてもらえないでしょうか。

町長 一度そういうところをまとめていただいて役場に提出していただけないでしょうか。とりあえず行政から持ち主の方へ連絡をさせていただきたいと思います。その上で対策のほうを考えたいと思います。

男性 役場に行くと色んな窓口があってどこにいけばいいかわからないんです。桑名市でもインフォメーションとかあってそこに聞けばわかるとかあるんで東員町もそういうのを作ればいいと思うんです。

総務部長 昔東員町にもありまして、正面玄関入ったところに半円のカウンターテーブルがあって、女性職員2名いたんです。10年くらいやっていたんですが、人も場所ももったいないという話からなくなりました。一時期職員が腕章つけて案内するというサービスもやっていたんですが、それも効率等考えて廃止になりました。

町長 正面入ってもらってどこでもいいので聞いてもらえば案内させていただきますのでよろしくお願いします。インフォメーションがあってそこに行けばわかると言うのが本来だと思うんですが、東員町は昔から職員数が少ないんです。同じ規模の自治体と比べると少ないんです。それもあって手が上手く回らないというのもあるんです。職員数は国からも減らせときていますし仕方がないかなと思っています。